教科シラバス (商業科)

| 科目 第記 単位 2 数 対 3年一般類型 商業コース | 使 用 教 高校簿記 教 材 書 (実教出版) | 副標準検定簿記問題集 3教1 級 (東京法令出版) |
|---|---------------------------------------|---------------------------------|
|---|---------------------------------------|---------------------------------|

学習目標

- ・企業における取引の記録・計算・整理に関する知識と技術を習得し、簿記の基本的な仕組みについて理解 しましょう。

| ・簿記実務検定試験1級程度の知識を身に付けることが目標です。 | | | | | |
|--------------------------------|---|---|---|---|--|
| | | 単元・項目 | 指導項目 | 学習内容 | |
| 学 | 第V編 第22章 第23章 | 取引の記帳と決算Ⅲ 特殊な商品売買の 記帳 特殊な手形の記帳 | 2 委託販売 3 割賦販売 4 試用販売 5 予約販売 1 自己受為替手形 | ・企業においては、第Ⅱ編で学んだ取引 の記帳のほかに、さらに種々の取引が 発生し、記帳が行われています。本編 では、商品売買や手形の特殊な取引に ついて学習します。 | |
| | 第24章 | 決算 (その3) | 2 手形の書き換え 3 不渡手形 4 荷為替 5 手形の裏書・割引と保証債務 1 決算整理 2 2区分の損益計算書と貸借対照表の作成 | | |
| 習 | | 本支店の会計 本支店の取引 | 1 支店会計の独立 2 本支店間の取引 3 支店相互間の取引 | ・経営活動の地域を広げるために各地に 支店を設け、支店が独自の会計帳簿に 記帳する場合がある。支店会計が独立 している場合の記帳法、本支店の財務 | |
| | | 本支店の財務諸表 の合併 | 2 貸借対照表と損益計算書の合併 | 諸表の合併について学習します。 | |
| 内 | 第7編 第27章 | 複合仕訳帳制 複合仕訳帳制によ る記帳 | 複合仕訳帳制 現金出納帳 当座預金出納帳 仕入帳・売上帳 普通仕訳帳 | ・単一仕訳帳や3伝票制といった帳簿組織よりも複雑な記帳法が、記帳の合理化のために用いられる。特殊仕訳帳、5伝票制を利用した会計処理について学習します。 | |
| 容 | 第28章 第29章 第30章 第31章 | 生の記帳 設立・開業の記帳 剰余金の処分に関 する記帳 社債の記帳 | 1 株式会社の設立と開業 2 株式の発行 3 純利益の計上 4 剰余金の処分 5 社債の発行 6 社債の利払い 7 社債の期末評価 8 社債の償還 9 税金の種類 10 法人税・住民税・事業税の記帳 | ・株式会社設立時の株式の発行、決算における未処分利益の計上など株式会社特有の記帳について学習します。・全商簿記実務検定試験2級模擬問題を練習します。 | |
| 内容 | 授業の 内容と 内容と ・検定試験に対応するために、過去の問題や模擬問題などを利用して、発展的な学習も行います。 | | | | |
| | (観点1:関心・意欲・態度) ・企業の取引を、帳簿に記録・計算・整理する記述に関心を持ち、自ら進んで取り組もうとする意欲や 態度があるか。 | | | | |

学習 (観点2:思考・判断・表現)

評価

・簿記のルールから思考し、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切な判断をしているか。

(観点3:技能) \mathcal{O}

・簿記に関する基礎的・基本的な技術を身に付けているか。

観点 及び (観点4:知識・理解)

・簿記に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、簿記の一巡の手続きを理解しているか。

・各観点とも定期考査、小テスト、授業態度、出席状況、ノート、課題提出状況、検定試験などから 評価します。

学習 サポ ート

方法

- ・30分程度の予習をしてから授業に臨みましょう。
- ・ノートは、分かりやすく整理しましょう。
- ・諸帳簿を丁寧に正確に書けるように練習しましょう。
- ・毎日、1時間は家庭学習をしましょう。